

「（改訂）警防活動時等の安全管理マニュアル」に関する各委員からの主な意見

事務局が作成した、「（改訂）警防活動時等の安全管理マニュアル（案）」について、事前に各委員にご確認いただき、内容等についてのご意見をいただいた。各意見については、以下のとおり。

1 主な意見の一覧

ページ	章・節	項・目	細目	意見内容	事務局対応
ー	全般			「…適切な指示…」、「…的確な行動…」の「適切」や「的確」はマニュアルとしては少し抽象的な表現となるため、「…具体的な注意や指示…」などのように、具体的な表現にしてはどうか。	修正
ー	全般			マニュアルの説明文に「等」が多いように感じました。あまり「等」を使用すると、対象がぼやけたり、分かりづらくなるため、「等」の多用は避けたほうがよいのでは。	各本部によって活動の方法が異なることも考慮して、「等」を使用しているのを、これらを考慮して影響のない範囲で修正
7	I 総論 § 2 行動総論	1 出動前 (3) 乗車前		「前方を確認して」は「周囲を確認して」のほうがよいのでは。	修正
8	I 総論 § 2 行動総論	1 出動前 (4) 乗車時		「車両のドアは、確実に閉めてロックする。」とあるが、ドアロックは災害時はしてないのでは。	削除
13	I 総論 § 2 行動総論	4 現場活動 (2) ホース延長	②手びろめ及びホースバッグによるホース延長	ホースバックによるホース延長を追加してはどうか。（例）肩に確実に担ぎ、周囲や前方の障害に注意するとともに、転倒防止に注意する。	追加
16	I 総論 § 2 行動総論	4 現場活動 (3) 放水活動	②放水活動時	「…筒先は確実に保持する。（追加）不意の送水があることを予測して、ノズルは閉状態にしておく。	追加

ページ	章・節	項・目	細目	意見内容	事務局対応
26	I 総論 § 2 行動総論	5 帰署（所）	(1) 帰署（所）	(9) に帰署（所）があるので、前マニュアルと同じ「帰署（所）途上」が良いと思われる。	修正
32	II 各論 § 1 火災防ぎよ	1 一般火災 1 破壊・進入活動	(2) 進入活動 ア 共通事項	進入隊員を管理するため「隊員カード等」を積極的に利用する。以下、進入活動系については同じ。	各本部で様々な活動方法があるので、表記は避けた
34	II 各論 § 1 火災防ぎよ	1 一般火災 1 破壊・進入活動	(2) 進入活動 エ その他	本文中に「監視要員を配置するなどの措置をとる。」と追加してはどうか。	追加
42	II 各論 § 1 火災防ぎよ	2 耐火建物火災 1 破壊・進入活動	(2) 進入活動 イ 延焼建物への進入 ①共通事項	9の文中の、「ダウンドラフト」の用語説明が必要ではないか。	あえて難しい表記を使用するより、単純に「煙が上昇せず」と表現変更
47	II 各論 § 1 火災防ぎよ	2 耐火建物火災 1 破壊・進入活動	(3) 延焼建物内に進入しての放水	「14 石造り、れんが造りの建物は、一部が崩れると未燃部まで一挙に崩壊する場合がありますので、十分注意する。」と項目を追加してはどうか。	追加
53	II 各論 § 1 火災防ぎよ	3 危険物火災 2 放水活動	(6) その他の火災の消火活動	「6 加熱されたドラム缶等を移動するときは、十分に冷却したうえで衝撃を与えないように慎重に扱う。」及び「7 メチルエチルケトンパーオキサイド等の過酸化物は、加熱や衝撃にとり分解爆発の恐れがあるので、遮へい物等を利用し、かつ安全な距離を確保する。」と項目追加してはどうか。	追加

ページ	章・節	項・目	細目	意見内容	事務局対応
66	II 各論 § 1 火災防ぎよ	6 船舶火災 1 共通事項		「また、船舶内は、密閉性が高く火災時には酸欠の恐れがあるため、煙が少ない場合あるいは鎮火後であっても、必ず呼吸器を着装して進入する。」と2の本文中に追加してはどうか	追加
72	II 各論 § 1 火災防ぎよ	7 車両火災 3 放水活動		3の内容について、ハイブリッドだけでなく及び電気自動車（EV車）も追加してはどうか。	電気自動車も追加
77	II 各論 § 2 その他災害防ぎよ	1 NBC災害 2 防ぎよ活動	(1) 共通事項	6の「脱出するときは、」の後ろに「除染を行った後」と追加してはどうか。	追加
77	II 各論 § 2 その他災害防ぎよ	1 NBC災害 2 防ぎよ活動	(3) 汚染拡大の防止	「3 使用資資器材に、放射性物質による汚染がある場合は、除染又は廃棄を関係機関に依頼する。」と追加してはどうか。	追加
80	II 各論 § 2 その他災害防ぎよ	2 ガス漏えい災害 2 防ぎよ活動	(1) 共通事項	「4 見地活動等により特にガス濃度が高い（爆発下限界30%以上）区域には、爆発危険区域を設定するとともに、ガス及び電路遮断の確認をはじめ着火源となるものが、全て排除されるまで、原則として消防隊等は進入しない。」及び「5 噴出しているガスが炎上している場合は、不用意に消火すると、未燃ガスが噴出状態となり、二次的な爆発、炎上の危険があるのでガスコック等によるガスの遮断を優先する。」と追加してはどうか。	追加

ページ	章・節	項・目	細目	意見内容	事務局対応
83	Ⅱ 各論 § 2 その他災害 防ぎよ	3 風水害 2 防ぎよ活動	イ 浸水地域の警戒	(追加) 3 マンホールの吹き出しによる受傷危険及びマンホール蓋の移動による転落危険があるので十分注意する。 4 道路の陥没や路肩の崩れ等も考えられるので、これらに配慮した車両走行を行う。	追加
90	Ⅱ 各論 § 3 事故等に伴う救助活動	2 交通事故 1 破壊・進入活動	(1) ドア、窓枠等の破壊	ハイブリッド車に加え、今後は電気自動車（EV）の普及が見込まれる。現在の軽自動車EVはハイブリッド車よりも高電流が流れるため危険性も高い、付け加えたらどうか。	追加
93	Ⅱ 各論 § 3 事故等に伴う救助活動	4 水難事故 2 救出活動	(1) 陸地からの救出	(追加) 4 はしご、クレーン車等による救助に際し、足場の良い場所を選定し、転倒防止に十分配慮する。 5 活動にあっては、救命胴衣を着装する。 6 夜間は照明により安全の確保を十分行った活動とする。 7 橋上での救助活動は、一般車両の走行に注意を払い活動スペースを確保する。	追加
94	Ⅱ 各論 § 3 事故等に伴う救助活動	4 水難事故 2 救出活動	(2) 水中での救出 ウ 素潜りによる救出	(2) 水中での救出 ウ 素潜りによる救出についてですが、基本的に潜水をする場合は潜水器材を使用するのではないかと、「素潜りによる救出」の項目があると、紛らわしいと感じることから事故事例を「潜水器具を使用した救出」に入れてはどうか。	ドライスーツ等を着用した素潜り救助を行っている消防本部があるため、そのまま据え置き

ページ	章・節	項・目	細目	意見内容	事務局対応
95	Ⅱ 各論 § 3 事故等に伴う救助活動	4 水難事故 2 救出活動	(2) 水中での救出 エ 潜水器具を使用した救出	(2) 水中での救出エ潜水器具を使用した救出5の文中、「相互に命綱等で結着」と記載されているが、逆に水中拘束になると思われます。	表現修正

2 その他表現の統一

- ① 警防活動、災害現場の活動 → 警防活動（統一する）
- ② 警察官・関係者に依頼、要請、求める → 要請する（同上）
- ③ 「及び」 → 「や」、「と」（柔らかい表現にする）
- ④ 「または」 → 「や」、「あるいは」（同上）
- ⑤ 「…指示を与える」 → 「…指示する」（適切な表現にする）
- ⑥ 「…の場合は、」 → 「…は、」（表現を短縮する）
- ⑦ 「…においては、」 → 「…は、」（同上）
- ⑧ 「…にあたっては、」 → 「…は、」（同上）
- ⑨ すべりやすい → 滑りやすい（消防職員にとっては漢字の方が分かりやすい）
- ⑩ ふくそうする → 輻輳する（同上）
- ⑪ おの → 斧（同上）
- ⑫ むれる → 濡れる（同上）
- ⑬ はさまれる → 挟まれる（同上）
- ⑭ 「…適切な指示を与える。」 → 「…具体的な注意や指示を行う。」
- ⑮ 照明する → 明るく照らす（「照明」は名詞である）
- ⑯ 「…すること。」 → 「…する。」（全体の表現を統一する）
- ⑰ 降車と下車の使い分け。他は「下車」を使っており、統一を
- ⑱ 「車両止め」は、他の記述と同じ「車輪止め」に統一
- ⑲ 「管そう」は「筒先」の使い分けが明確でないので、「筒先」に統一